

Help

にほんご
日本語・汉语 (English・Español・Português)

有助于在埼玉县安居乐业的5国语言信息刊物

さいたまけん す やくだ げんご じゅうほう
埼玉県に住むために役立つ5言語による情報

♣第66期♣ 2013年3月 - 4月

はっこう さいだんほうじん さいたまけんこくさいこうりゅうきょうかい
発行：財団法人 埼玉県国際交流協会
はっこうび ねん がつ び
発行日：2013年3月6日



◆ 主な内容 ◆

- [P.1] “Help”いよいよ最終号 ～11年間をふり返って～
- [P.2] 3・4月の暦・行事や習慣あれこれ
- [P.3] 「外国人総合相談センター」への相談から Q.36) 来日する子どもの年齢と日本での教育について
- [P.4] 耳より情報、シリーズ(6)季節の健康対策「花粉症」



きぼう はる 希望の春

◆ 主要内容 ◆

- 【第一页】“Help”刊物迎来了最后一期
- 【第二页】三、四月份日历，民间传统节日・习俗介绍
- 【第三页】来自综合咨询中心的咨 问题 36) 外国孩子来日本的时期和来日本后的教育问题
- 【第四页】有价值的信息 系列(6)季节保健对策 “花粉症对策”

“Help”いよいよ最終号 ～11年間をふり返って～

“Help”第1号は、2002年5月に発行されました。この年には、サッカーの「日韓ワールドカップ」がアジアで初めて開かれ(5/31～6/30)、さいたま市内に新しく建設された「埼玉スタジアム 2002」でも熱戦が繰り広げられました。また、この年の1月1日から、EU12か国で通貨が一斉に「ユーロ」に変わりました。

皆さんは、その頃、どこで何をしていましたか。そして、現在までの11年間に、何か大きな出来事や変化はありましたか。日本や世界では、良いことも悪いことも含め、本当に様々なことがありました。例を挙げればきりがありませんが、2008年に起きた「リーマンショック」と2011年の「東日本大震災(3.11)」は、特に深刻な出来事でした。その影響を受けて、在日の南米日系人(特にブラジル人)がたくさん帰国していきました。現在、さいたま市に在住の外国人登録者数を11年前と比べてみると、中国人は倍増、フィリピン人も相当数増えているにもかかわらず、ブラジル人は3分の1(約5000人)以上も減少しています。ちなみに、昨年末の統計によれば、**県内には149か国、約12万人の外国籍の人が住んでいます(2002年比、約27000人増)**。

そして、SIAの「外国人総合相談センター埼玉」(8言語対応、入管・労働・法律・生活相談など)は、**2006年4月にスタート**以来7年になります。また、昨年**2012年7月**には新しい在留管理制度が始まり、市町村での外国人登録制度が廃止され、入管から「在留カード」が発行されることになりました。

今年6月には、新しい多言語情報紙がカラー版で登場の予定です。ぜひ引き続きご活用ください!

“Help”刊物迎来了最后一期 ～回顾11年来的足迹～

“Help”第1号是于2002年5月创刊的。这一年发生了不少令人难忘的大事。如：日韩合办了首次在亚洲举行的世界杯足球赛(5/31～6/30)，参赛球队在埼玉市新建的“埼玉体育场 2002”展开了激烈的角逐。

再如：这一年的1月1日，欧元作为欧盟通用货币在12个盟国中正式启用了等等。

各位外国朋友您在2002年是怎样度过的呢？在这11年中，你我身边都发生了哪些大事和变化呢？日本和世界历经了无数的巅峰和坎坷，真是多得不可枚举。尤其是2008年雷曼兄弟债券事件和2011年3月11日的“东日本大地震”在我们的记忆中留下了深刻的印象。受此影响震灾之后，大批的日裔南美籍人(尤其是巴西人)返回了故乡。

现在居住在埼玉县的外国人与11年前相比，中国人最多增加了一倍；菲律宾人的数量也有大幅度的增加。唯独巴西人锐减5千人，相当于总人数的三分之一。去年的统计数字表明，**有149个国家共12万外国人**居住在本县，比2002年增加了27000多人。

2006年4月，SIA“埼玉外国人综合咨询中心”起步了，用八种语言承接入境管理、劳务、法律、生活等方面的咨询已有7个年头了。**2012年7月**新的居留管理制度实施之日起，废除了在市町村办理的外国人登录制度，一律由入国管理局发行居留卡。

今年6月，新的多种文字信息报将以新颖的彩色版面与大家见面，请各位继续予以关心和注目。



